



子どもと一緒に昔話を

—— 読んで、聞いて、語って楽しもう！ (全6回)

「昔話って何ですか？」とあらためて聞かれたら、うまく答えるのは難しいものです。また、昔話に対しては、いろいろな疑問を持っている大人も多く、たくさんある昔話絵本のなかからどれを選ばいいのかわからない、と思っている人もいます。一方で子どもたちは、昔話を語ってもらったり、読んでもらったりすると、驚くほど集中してよく聞きます。

今年のセミナーではテーマとして「昔話」を取り上げました。Ⅰ、Ⅱでは、昔話の分類や特徴について講義をしていただきます。Ⅲでは、昔話やお話を子どもたちに聞かせることの意味を、お話の実践を通して考えたいと思います。



【内 容】

	日 時	講 師	内 容
Ⅰ	2025 年 9月17日 (水)	小林 将輝 氏 (駿河台大学教授)	①10:00～12:00 「昔話とは何か 一昔話の分類とグリム童話の成立」
			②13:30～15:30 「昔話の語り口 ーファンタジー世界を作る仕組み」
Ⅱ	2025 年 10月15日 (水)	小林 将輝 氏 (駿河台大学教授)	③10:00～12:00 「昔話が語ること① 一昔話は子どもが成長する姿を語る」
			④13:30～15:30 「昔話が語ること② 一昔話は語られる土地のことを語る」
Ⅲ	2025 年 11月19日 (水)	賀谷 恭子 氏 (東京子ども図書館 お話の講習会講師)	⑤10:00～12:00 「子どもにとってお話とは」
		林 直子 氏 (東京子ども図書館職員)	⑥13:30～15:30 「お話を楽しむ」

(※ 講師のプロフィールについては裏面をご覧ください)

【場 所】 富士宮市役所7階 710 会議室

【定 員】 60 人 (富士宮市在住、在勤、在学の方優先)

【参 加 費】 無料

【託 児】 各回午前のみ、1 歳以上 10 人まで (8/26 までに申込み)

【申込受付】 8月12日(火)～9月8日(月) (先着順、定員になり次第締切る)

【申込方法】 社会教育課へ電話(22-1186)をするか、社会教育課窓口(6 階)まで



〈カット〉 オットー・ウベローデ
「ヘンゼルとグレーテル」

〔講師プロフィール〕

小林 将輝 氏（駿河台大学教授）

1973 年、山梨県生まれ。東京大学大学院総合文化研究科博士課程単位取得退学。
駿河台大学教授。専攻はグリム童話、ドイツ旅行文学。

論文に「グリム兄弟のライヒャルトとその家族との交流についてーカッセル、ハレ時代を中心にー」（『昔話の研究と継承 小澤俊夫先生卒寿記念論文集』、小澤昔ばなし研究所、2021 年）、「書斎の静寂のユートピア：共同生活をした引きこもりというグリム兄弟像について」（『駿河台大学論叢』第 53 号、2016 年）など。翻訳にアルフレート・ヘック「マールブルクの学生時代のグリム兄弟」（小澤昔ばなし研究所『子どもと昔話』9、10、11 号、2001～2002 年）などがある。

賀谷 恭子 氏（東京子ども図書館お話の講習会講師）

1990 年半ば、地域の小学校で「朝の読み聞かせ」活動を立ち上げる。2001 年 4 つの小学校の読み聞かせメンバーで地域の読書活動グループ「ことりの会」をスタートし、以後代表を務める。

横浜市子ども読書コーディネーターを経て、2014 年から横浜市の小学校、中学校で学校司書。2018 年から、公益財団法人東京子ども図書館の「お話の講習会」講師。

現在、主に横浜市内の図書館、小・中学校、保育園、コミュニティハウスなどで子どもたちにおはなしを語り、おはなし会を開催する傍ら、横浜市ほかで、保育士、幼稚園教諭、司書、ボランティアなどを対象におはなし、読み聞かせ、わらべうたなどの講師を務める。学校司書をしていた中学校では不登校生徒の登校支援に週一回携わる。

林 直子 氏（東京子ども図書館職員）

2006 年度に東京子ども図書館の研修生として学ぶ。沖縄県での小学校図書館勤務を経て、2010 年より東京子ども図書館職員。かつら文庫担当。児童室やかつら文庫のお話の時間を担当するほか、学校訪問でもお話を語る。

